

第7回総務文教常任委員会 概要報告

年 月 日	令和3年7月28日	会 場	4階 第1委員会室	案 件	所管事項の調査
出席委員	高橋伸典、山崎真由美、黒井徹、佐藤靖、清水一夫、遠藤隆男				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

報告・調査事項審議

【1】総合政策課

1 名寄市公共施設等再配置計画について

計画策定に当たり、「名寄市公共施設等再配置計画策定業務プロポーザル（公募型）実施要領」に基づき公募したところ、1社の応募があった。

また、計画策定に向けては、森教授（北海道大学）をアドバイザーに講演会や説明会を行っていく。

2 J R 名寄高校駅設置スケジュール等について

令和3年5月14日にJ R 北海道と協定を締結、運輸局へ許可申請がなされた。J R 名寄高校駅設置のスケジュールは、9月から駅本体工事に着工し、令和4年3月のダイヤ改正に合わせて供用開始の予定である。

また、親しみをもって利用してもらえるように、市内中学・高等学校に通学する生徒を対象に愛称を募集したところ、200点の応募があり年内に選定する。

東風連駅移設イベントについては、7月13日、東風連駅移設イベント実行委員会が開催され、名寄市まちづくり推進事業助成金の活用を検討している。

<質疑等>

Q 名寄高校駅駅舎のイメージは。また、周囲の暗さなどへの対応をどうするのか。

A 駅舎はホームを降りた場所に雨や雪をしのげるカーポートを設置する。周囲の電気工事は今後J Rが進めていく。

意見 冬季の列車遅延等にも対応できるよう、待機場所としての駅舎を再考するべきと考える。

3 王子マテリア名寄工場敷地活用の進捗状況について

12月に閉鎖される王子マテリア名寄工場については、9月と12月にメイン生産機が停止するため、現在は機械をフル稼働させて製品の在庫を増やしている状況。

また、残務処理などで閉鎖後も一定期間従業員が残るが、人員配置やスケジュールの詳細は検討中である。

工場敷地活用では、対策本部からの要望を考慮した上で進められている。内容が固まり次第公表する。

【2】秘書広報課

1 移住定住推進の取り組みについて

① 移住体験ツアー

静岡県より一家族の申し込みがあり、新規就農も視野に受け入れを予定している。

② 移住 P R 動画

「子育て」「仕事」「アクティビティ」等の動画構成を検討中である。来年3月中に完成、Youtubeでの配信や移住相談会での活用、ふるさと納税 P R、新規就農者相談会等、広く名寄市の魅力を P R していく。

2 地域おこし協力隊について

観光業務を担う地域おこし協力隊として1名が着任。N P O 法人名寄観光協会に勤務し、観光情報取得や体験型観光商品の企画・運営などに携わっていく。

【3】スポーツ・合宿推進課

1 令和2年度スポーツ合宿入込実績について

合宿者数は、新型コロナウイルスの影響により上半期においては、前年比24.3%の732人。下半期はこれまでで最大の6,565人(H30年比120%)となった。

下半期の全道・全国大会は12大会であり、エントリー数は3,106人、実選手数は2,176人であった。

〈質疑等〉

Q 入込実績を分析し、さらに多くの合宿者を呼び込む考えは。

A 多くが冬季の合宿入込であり、夏季を増やしていけないか検討していく。

2 イベントに関するお知らせ

・「街なか運動会」

とき： 9月5日 ところ：名寄駅前商店街

・「なよろピヤシリスキー場ヒルクライムレース」

とき：10月2日 ところ：ピヤシリスキー場

所管調査について

【1】公共交通について

名寄市全図に、現在の公共交通路線および停留所を記入し、作業を進める中で空白地域の実態を掴み調査を進めていく。また、福祉サイドとの意見交換を行い、高齢者無料バス及び福祉バス等について研究していく。